

研究成果情報		園芸	14	花き・花木	栽培
新技術・情報名	組織培養すかしゆり品種「越路紅」、 「サマーキング」の開花促進のため の温湯処理及び低温処理法			分類	①

## 1 成果の内容

### 1) 技術・情報の内容及び特徴

すかしゆり系交雑品種「越路紅」及び「サマーキング」の組織培養球根の促成栽培において、温湯処理及び低温処理による開花促進法を明らかにした。

(1) 温湯処理は、11月下旬に処理する場合は、「越路紅」ではりん片2年球を使用し40℃で40～60分間の処理を行うと開花が早まる。「サマーキング」ではりん片2年球を使用し慣行の処理温度より高めの45℃で60分間処理する。

(2) 低温処理は、11月中旬に処理する場合は、「越路紅」ではりん片2年球または3年球を使用し、2.5℃で4週間処理すると開花が早くなると共に切花品質が向上する。「サマーキング」は球根の養成経歴にかかわらず低温処理によって開花が遅くなるので、慣行の栽培法で行われている低温処理は行わない。

### 2) 技術・情報の適用効果

組織培養球根を利用したすかしゆり系交雑品種の促成栽培における開花促進、品質向上により切花経営の安定に資することができる。

### 3) 適用範囲

県内全域のすかしゆり栽培地域

### 4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

組織培養球根は生育が旺盛で草姿が剛直になりやすいので、基肥は慣行の50%の窒素7.5Kg/10a程度に減らし、生育に応じて追肥を行う。

## 2. 具体的データ

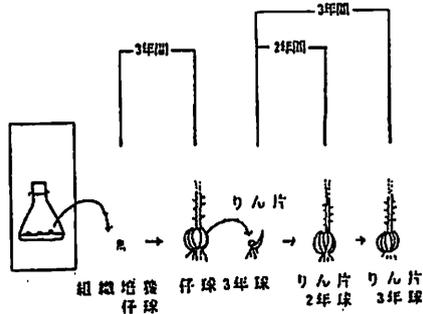


図 1 組織培養球根の増殖体系

表 1 温湯処理と開花及び切花形質 (平成 2年)

球根種類	処 理	越路紅		サマーキング	
		平均 切花長		平均 切花長	
		平均 開花日	cm	平均 開花日	cm
		月 日		月 日	
	無処理	5-16	85	5-29	128
	40℃-20分	5-14	103	5-27	137
りん片	-40	5-7	76	5-28	135
	-60	5-8	86	5-27	132
2年球	42.5℃-20	5-14	99	5-27	129
	-40	5-17	106	5-27	135
球	-60	5-10	73	5-26	108
	45℃-20	5-17	92	5-25	112
	-40	5-17	92	5-25	108
	-60	5-15	88	5-23	115

注) 温湯処理 (11月28日) 後、7.5℃で7週間低温処理。

表 2 低温処理と開花及び切花形質 (平成 3年)

球根種類	処 理	越路紅				サマーキング			
		平均 切花長		花数	重量	平均 切花長		花数	重量
		平均 開花日	cm			平均 開花日	cm		
		月 日				月 日			
りん片	無処理	4-24	78	4.3	67	4-25	98	5.9	95
	10℃	4-13	77	4.1	69	5-3	108	4.7	104
2年球	7.5	4-14	88	4.6	80	5-1	108	5.3	106
	5.0	4-15	88	4.2	84	5-2	114	4.8	104
球	2.5	4-12	89	5.2	92	5-4	111	5.9	100
りん片	無処理	4-26	79	4.3	68	4-26	101	5.2	89
	10℃	4-15	78	4.9	82	4-30	113	4.8	105
3年球	7.5	4-14	84	4.7	82	5-1	115	5.4	114
	5.0	4-12	83	4.4	75	5-2	120	5.5	110
球	2.5	4-10	89	4.3	82	5-4	121	5.3	115

注) ①低温処理は11月18日から4週間。  
②無処理は室温で貯蔵。

## 3. その他特記事項

担当部科室名 : 園芸研究所 野菜花き部 花き花木研究室  
 研究担当者名 : 坂井康弘、小林泰生、谷川孝弘  
 研究課題名 : スカシユリ系交雑品種の生産安定  
 期 間 : 平成2年～平成3年  
 予算区分 : 経常  
 既発表論文・資料名等 : 福岡県農業総合試験場園芸研究所  
 花き花木試験成績書 平成2～3年度  
 取りまとめ責任者名 : 坂井康弘